

=私たちの活動 4つの柱=  
 \*制度化と指導員の身分保障  
 \*専門性と仕事の確立  
 \*父母と共に学童保育運動の発展  
 \*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

# ニュース学童保育

2021. 1. 13.  
 NO. 69  
 全日本建設交運一般労働組合  
 全国学童保育部会 発行  
 編集：事務局

# 各地で国会議員要請

## 要請の内容その通り、の声も

**感染拡大は  
政府の責任**

が起きています。

新年、あけましておめでとございます。

昨年はコロナ禍に翻弄された1年でしたが、今年もしばらく続きそうな状況です。

しかし、他国に比べてまだ感染者数が少ないにもかかわらず、医療崩壊

が起きています。これは、医療費の削減、病院や保健所の統廃合を進めてきた政府の責任です。

**議員自ら、  
学童現場に**

昨年は総選挙の年です。今年も情勢学習し、全員が投票に行きましょう。

こんな内閣に、私たち国民の命、健康を託すわけにはいきません。

昨年から取り組んでいる地元国会議員要請が各地域で進められています。

コロナ禍の心配から、こちらから連絡は取ったものの、郵送やFAXでの対応を余儀なくされたところもありました。

### 全国学童保育部会拡大幹事会 オンライン開催に変更

日時：2021年2月21日（日）  
 10：00～17：00  
 （受付9：30から）  
 オンライン拠点：建交労愛知県本部

コロナ禍の感染状況がいよいよ深刻化し、11都府県に非常事態宣言が発令されました。こうした状況もふくめ、全国部会拡大幹事会はオンラインで開催し、「全国学童保育研究会」の開催は見送ることとしています。

オンライン会議は、意思疎通の難しさはありますが、参加のしやすさ、複数参加できるなど利便性もあります。

各支部とも、積極的な参加をよろしくお願ひします。

別途、申し込み用紙を送ります。



愛知支部の要請の様子。



学校の余裕教室で実施の学童に議員がみえました。（群馬）



新座支部では、指定管理者制度の問題を訴えました。

議員自ら学童保育現場を訪れ、要請を受けていたところもありました。しかし、

議員自ら学童保育現場を訪れ、要請を受けていたところもありました。しかし、た（群馬）。議員から「議会でお手伝えるお手伝いができたらと思っ

か、どういった支援が必要なのか色々教えてほしい」と言われ、「若い方が長く続けられるような賃金体制を整えてほしい」「コロナ禍で児童数が減り、改めて適正規模の大切さを感じた」など、実態を伝えていきました。

愛知での要請では、秘書の方が「親として名古屋の〇〇学童にいました。要請の内容はまさにその通りだと思ひます。議員にも強く言っておきます。」と心強い反応のところもありました。

訪問がまだのところは、まず電話掛けをしていきたいと思います。